

評価グリッド エクアドル国ガラパゴス諸島海洋環境保全計画

評価項目	評価設問		必要とするデータ・情報源	評価結果
	大項目	小項目		
1. プロジェクトの実績	アウトプット1(海洋保護区管理情報が漁業コミュニティに伝達される)の達成度	1.1 漁協での会議数と参加者数は増加しているか?	漁協へのインタビュー・会議記録	漁協での会議数および参加者数が増加しても、漁民にガラパゴス海洋保護区(GMR)の情報が伝わっているとは限らないので、指標を変更することとした。
		1.2 漁協HPへのアクセス数とニュースレターの配布部数は増加しているか?	HPおよびニュースレターの確認	サンタクルス漁協のHPを作成中で7割程度完成した。ラジオ放送を纏めたニュースレターは、12部作成し、新聞社を含む各方面に配布済み。しかしながら、HPは外部向けの情報発信ツールであるため、指標の見直しが必要。
		現在の実施体制は、アウトプット1を産出するために適正に機能しているか?	質問票および関係者へのヒヤリング	プロジェクトが現地で雇用しているスタッフとアシスタントの2名が中心となり、コンポーネント1の活動を進めている。PNGのCPは情報分野の部長がアサインされているが、多忙のため殆んど活動に関与できていない。
		関係者間および受益者とのコミュニケーションは良好に保たれているか?		当初のターゲットであったイサベラ漁協は、漁協リーダーの方針転換により、プロジェクトとの関係が悪化。サンタクルス漁協に変更後は良好な関係が保てている。ラジオ・テレビ放送に対する漁民・住民の反応は良く、マスコミとの関係も良好である。
	アウトプット2(地元住民の環境理解が促進される)の達成度	上記指標の他にアウトプット1の達成度を測れる指標(例:情報の質など)はあるか?	プロジェクト関係者との協議結果	社会経済調査結果に基づき、指標は以下のように具体化された。 1) 漁業コミュニティにおけるGMR管理に関する知識レベルが50%増加する。 2) ガラパゴスの4漁協とそのメンバーの内外コミュニケーションレベルが40%増加する。
		2.1 環境教育関連施設への地元訪問者数は増加しているか?	環境教育関連施設の入場者記録・プロジェクトの記録	環境教育のためのコミュニティセンター(GCEE)は、土地問題のため開業していない。チャールズダーウィン財団(CDF)のビジターセンターへの入場者は殆んど観光客である。
		現在の実施体制は、アウトプット2を産出するために適正に機能しているか?	質問票および関係者へのヒヤリング	地元の高校やCDFの協力を得て、高校生を対象とした環境教育は進んでいる。GCEEがオープンすれば、公園管理局(PNG)の関与も増加し、実施体制が整うと思われる。
	アウトプット3(海洋生物と海洋環境の情報が増加する)の達成度	関係者間および受益者とのコミュニケーションは良好に保たれているか?	プロジェクト関係者との協議結果	活動の初期段階で、専門家とCPの間にコミュニケーション・ギャップがあったが、現在は改善されている。
		上記指標の他にアウトプット2の達成度を測れる指標(例:教育内容の質など)はあるか?		今後、GCEEを中心に環境教育活動を推進する予定であるため、指標もそれに合わせて変更した。 1) GCEEで行われたGMR保全に関するイベント数。 2) GCEEで実施された保全活動への参加者数。 3) GMRに関する知識を持つ人数が増加する。
		3.1 データベースの数と記録(=データ項目)は増加しているか?	プロジェクトのデータベース記録	PNGはCDFと共同で、GMRに関するデータベースを構築中。プロジェクトで得られたデータは、その中に統合される予定。
		3.2 GRMIに関する調査は多様化しているか?	プロジェクトの調査記録	CDFとの協議結果を基に、エビの幼生調査やナマコの調査(アウトプット5)という新しい調査に取り組んでいる。
	アウトプット4(住民による汚水対策活動が推進される)の達成度	現在の実施体制は、アウトプット3を産出するために適正に機能しているか?	質問票および関係者へのヒヤリング	海洋調査ができる専門家とCPが長期間揃わなかったため活動開始が遅れたが、2006年7月時点では、実施体制が整い活動が開始されている。
関係者間および受益者とのコミュニケーションは良好に保たれているか?			CDFの担当者とは、頻りに会議・Eメール等でデータベースの内容等について協議している。総合的なデータベース構築に関する活動計画も共同で作成し、実施に移している。	
上記指標の他にアウトプット3の達成度を測れる指標(例:データの質や活用状況など)はあるか?		プロジェクト関係者との協議結果	活動の現状を踏まえ、以下の指標がプロジェクトより提案された。 1) GMRに関する生物学的かつ生態学的なデータが増加し、普及する。 2) PNGの研究能力が改善される。	
4.1 水質に関する指標(BOD/COD、T-N、T-Pおよび大腸菌等)は改善しているか?		水質モニタリング調査結果	汚染対策を実施しているわけではないので、適切な指標とは言えない。	
アウトプット4(住民による汚水対策活動が推進される)の達成度	4.2 水質汚染に関するターゲット・コミュニティの知識が増加しているか?	コミュニティに対する基礎知識調査結果	高校生を対象として参加型水質モニタリングを実施しているが、汚水対策が取れないため、積極的に結果を公開していない。	
	現在の実施体制は、アウトプット4を産出するために適正に機能しているか?	質問票および関係者へのヒヤリング	汚水対策を行うには、市役所の積極的な関与が必要であり、現時点では得られていない。	
	関係者間および受益者とのコミュニケーションは良好に保たれているか?		市役所と市民からは、汚水対策施設建設への期待が高まっており、プロジェクトとしても安易に接触できない状況である。	
		上記指標の他にアウトプット4の達成度を測れる指標(例:住民による活動など)はあるか?	プロジェクト関係者からのヒヤリング	上水の水質を改善するという指標ではなく、水質モニタリングシステムの構築を目指すことで合意し、指標を以下のとおりに変更した。 1) 水質モニタリングが定期的に実施される。 2) 水質モニタリングの結果が年次報告に纏められる。

評価項目	評価設問		必要とするデータ・情報源	評価結果	
	大項目	小項目			
2. プロジェクト の実施 プロセス	アウトプット5(伝統漁民のための持続的資源管理活動が支援される)の達成度	5.1代替収入手段を得た住民数が増加しているか?	プロジェクトのモニタリングレポート	イザベラ漁協の問題のため、アウトプット5の活動は始まったばかりであり、際立った成果は生まれていない。	
		5.2海洋資源管理に関する住民の理解が促進しているか?	地元住民からのヒヤリング	同上。	
		現在の実施体制は、アウトプット5を産出するために適正に機能しているか?	質問票および関係者へのヒヤリング	イザベラ島に現地スタッフを雇用し、女性グループ支援体制を整えている。しかしながら、このコンポーネントの活動は、労働集約的かつ時間を要するものが多い割りに、プロジェクト側の人的投入が少ない。技術的にも比較優位が高いとは言えない。	
		関係者間および受益者とのコミュニケーションは良好に保たれているか?	質問票および関係者へのヒヤリング	イザベラの女性グループの大半、およびサンタクスル漁協幹部とのコミュニケーションは良好である。体験型漁業のプロモーションはアウトプット1の情報分野のネットワークをつかって行われている。	
		上記指標の他にアウトプット5の達成度を測れる指標(例:持続的資源管理活動の内容など)はあるか?	プロジェクト関係者からのヒヤリング	1)代替収入手段を得た漁民の数が増加する。 2)漁民がJMPに提案した、モニタリング結果に基づく持続的な海洋資源管理方法の数。	
	活動の実績	活動の進捗状況	プロジェクト進捗状況は全体的に良好といえるか?	プロジェクトの活動報告および関係者からのヒヤリング	PNGを取り巻く政治的な混迷およびコミュニケーション・ギャップ等の理由により、開始当初1年半の間は、殆んど表立った活動は行われなかった。2006年1月ごろから大半の活動が開始されており、中でもアウトプット1、2、4の進捗が進んでいる。
		活動にあたっての問題点	進捗に影響を与えている問題はあるか?	プロジェクト関係者からのヒヤリング	2004年末に海洋資源管理部の部長を含む185名のPNG契約スタッフが解雇され、その後も、局長の交代と組織的な混乱が続いた。受益者の一部である漁民やPNG職員のスライキが勃発するなどの政情不安がプロジェクトの進捗に影響をもたらした。
		問題発現時にとられた対策	その問題を解決するためにどのような手段をとっているか?		解雇されたスタッフや前局長と良好な関係を保ちつつ、元職員を現地スタッフとして雇用するなどの対処策をとった。
	投入の実績	投入の実績	エクアドル側	プロジェクトの実績および質問票	2006年7月現在すべてのアウトプットにCPが配置されているが、プロジェクトマネージャーを兼任するエスピノーザ氏以外は、専任CPではないため、十分な時間をプロジェクトに費やしているとは言えない。 環境省予算に左右される人件費以外は、概ね良好に投入されており、2006年現在までの負担額は、9,173,374円(81,781米ドル)。 専門家の着任後、執務室および車両等、計画通りに提供された。現在も管理棟の水選光熱費、通信費など必要経費が負担されている。
			*CPは計画どおりに配置されているか?		
			*経費と資材が計画どおりに投入されているか?		
			*土地、建物、施設は計画どおりに提供されているか?		
			日本側		
			*専門家は計画どおりに派遣されているか?		
	*研修員は計画どおりに受入れられているか?	プロジェクトの実績および質問票	チーフアドバイザーと環境教育分野の専門家の投入に遅れが生じた。また、海洋生態系モニタリング専門家の交代期に8ヶ月間の空白が生じている。 PNGの混迷が研修員の選定に支障をきたし、2年間半で3名の受け入れに留まっている。		
*機材は計画どおりに供与されているか?		13,736,229円(122,459米ドル)が計画通り投入されている。			
*現地コストは計画どおりに負担されているか?		管理棟、展示棟、研修棟の建設を含む91,402,285円(814,855米ドル)が計画どおり負担されている。			
プロジェクトのマネジメント体制	モニタリングの実施	モニタリングはどのように実施されているか?	プロジェクトの実績および質問票	日本側は、アウトプット毎に進捗状況をモニターし、チーフアドバイザーが全体を総括していた。このプロセスにCPは参加していない。また、プロジェクト全体の進捗状況をプロジェクト関係者全体で共有する機会はなかった模様。 プロジェクト関係者全体で見直しを行う機会はなかった。 本部への報告はPDMに基づいて行われている。	
		PDM・POは適宜修正されているか?			
技術移転の方法	専門家とカウンターパートとの関係	PDMはどのように活用されているか?			
		専門家の技術移転の方法、コミュニケーションのとり方、その状況はどうか?	関係者への質問票	一部の例外を除き、専門家とCP、および現地スタッフ間のコミュニケーションは極めて良好といえる。特に、現在派遣されている専門家の専門性とスペイン語能力は高く、OJTによる技術移転もスムーズに行われると思われる。	
カウンターパートのプロジェクトに対する認識度	PNGのオーナーシップ	意思決定プロセスにPNGはどの程度関与しているか?	関係者への質問票	PNGはプロジェクトの原案作成時に関与したが、その後PNGの混乱が続いたため、開始直後からの組織的関与は弱く、日本側主導で決定されていた。	
		カウンターパートの関わり方は変化しているか?		一部の例外を除き、CPの関わり方は積極的になっている。	

評価項目	評価設問		必要とするデータ・情報源	評価結果	
	大項目	小項目			
その他ステークホルダーへの参加度およびプロジェクトに対する認識度	ステークホルダーの事業への関わり方はどうか？	ターゲットグループは活動にどのように関与しているか？	プロジェクトからの報告および一部ターゲットグループからのヒヤリング	住民(特に高校生)は、環境教育、参加型水質モニタリング等に参加。漁民は参加型漁獲モニタリングに参加予定。イザベラの女性グループは、伝統漁民支援対象(アウトプット5)の直接受益者として研修等の便益を受けている。また、住民全体として、ラジオ・テレビ等でプロジェクト活動に関する情報を得ている。	
		その他関連機関は、プロジェクトにどのように関与しているか？	プロジェクトからの報告および一部関連機関からのヒヤリング	CDFをはじめ、サンタクルス漁協、サンタクルスの4高校、観光業界、JMP、INGALAなど主要機関・組織との関係は良好である。唯一、市役所との関係が汚水施設建設を行わないため、ぎくしゃくしている。	
3. 妥当性	プロジェクトを実施する必要性	対象地域・社会のニーズとの整合性	対象地域・社会のニーズに合致しているか？	社会経済調査報告書	プロジェクトの大半がターゲット・グループ、特に漁民のニーズに合致している。
		ターゲットグループのニーズとの整合性	海洋環境保全は地元住民に便益をもたらすか？	プロジェクトからの報告および一部ターゲットグループからのヒヤリング	地元住民の生活は、ガラバゴスの海洋環境に全面的に依存しており、その保全は重要である。
	優先度	相手国の開発政策との整合性	エクアドル政府の環境政策と合致しているか？	環境省資料	1997年のガラバゴス特別法、2002年のガラバゴスの保全と持続的開発のための開発戦略、2006年のPNGの管理計画など、全ての法律、政策、開発計画に合致している。
		日本の開発援助政策との整合性	JICA事業実施方針の中で優先度は高いか？	JICA資料	「自然環境・生態系保全」は、対エクアドルの重点分野の一つに位置づけられている。
	手段としての適切性	プロジェクト目標・アウトプットの選択・ターゲットグループの選定の適正度	適切なプロセスを経て計画されたか？		プロジェクト開始前に短期調査2回、事前評価1回、実施協議1回の計4回の調査団が派遣され、PNGとの協議や住民とのワークショップを実施するなど、適切なプロセスを経て計画されている。
			プロジェクトのデザインや活動計画はガラバゴス海洋保護区生態系の維持・保全の戦略として適切であったか？	プロジェクトの過去の報告書および関係者からのヒヤリング	GMRの生態系の維持・保全活動に何が欠けていたのか、問題分析が十分でなかったため、目的および戦略の設定に問題を残している。また、住民のニーズに応えようとしたためか、汚水対策など目的に直結しない戦略も含まれている。
			PNG組織・規模・財政状況に対して適性な計画が立てられたか？		市役所が管轄している汚水対策以外のコンポーネントはPNGの組織、規模、財政状況に合致している。
			日本が協力する比較優位はあるか？比較優位がある場合、それは主にどの分野か？		環境教育や情報発信に活用できる映像技術や漁業規制の経験、海洋調査手法など。
	その他	政策・周辺環境の変化	環境省の政策動向とPNGの位置づけに変化が見られるか？	プロジェクトからの報告および関係者からのヒヤリング	1001人の登録漁民だけでなく、住民全体(2万人)を対象としたのは当時の政情不安を鑑みたと上で、戦略的にも適切であったといえる。
			その他、プロジェクトに影響を及ぼす変化が見られるか？		PNG議員の人件費を削減した以外は、特に目立った変更はない。 PNG長官が公選で選出され、リーダーシップを発揮している。また、PNGの組織強化を目的とする15万ドルの技術協力(IDB)が2006年6月に開始されており、PNGの建て直しが見られている。
4. 有効性	プロジェクト目標の達成予測	住民のイニシアティブによる保全活動が増加しているか？	プロジェクトからの報告および質問票	住民のイニシアティブによる保全活動が開始されるまでには時間を要する。	
		海洋保護区生態系の維持・保全活動が推進される)の達成度合		測定されていない。	
	プロジェクト目標の達成を阻害する要因の有無	阻害要因は何か？どのような対処方法が取られているか？	住民と海洋環境保全との接点が少なく、生態系保全に直結しない。		
	アウトプットとプロジェクト目標との因果関係	アウトプットの充足度	プロジェクト目標を達成するために適切なアウトプットが設定されているか？	質問票	アウトプット毎のターゲットグループと対象地域(島)が異なるため、因果関係の成立に困難をきたしている。
			アウトプット間の相乗効果が考えられているか？	関係者からのヒヤリング	社会経済調査結果を基に情報内容・伝達手段・代替収入手段等を検討する。また、各種モニタリングの結果を環境教育に活かすなど活動レベルでの相互作用は図られているが、アウトプット間の相乗効果までには至っていない。
		アウトプットからプロジェクト目標に至るまでの外部条件の充足度	ガラバゴス諸島の人口は増加していないか？	プロジェクト資料	プロジェクト計画時は年率8%の増加であったが、現在は推定13%と書かれており、車や事故の増加など社会問題を起こし始めている。
	その他に外部条件が存在するか？	質問票	特になし。		

評価項目	評価設問		必要とするデータ・情報源	評価結果		
	大項目	小項目				
5. 効率性	アウトプットの産出予測	アウトプットの達成度	アウトプットは達成できそうか？	プロジェクトの実績およびプロジェクト関係者からのヒヤリング	アウトプット4「住民による汚水対策」はプロジェクトの範囲が限られているため、達成困難である。	
		アウトプット達成を阻害する要因の有無	阻害要因は何か？どのような対処方法が取られているか？		本プロジェクト内で汚水対策施設の建設ができず、また、住民が実施できる汚水対策も限られているため。	
	投入および活動とアウトプットの因果関係	活動の適正度	現在の活動は、アウトプットを産出するために充分であるか？			アウトプット4以外は充分と言える。
			アウトプットを産出するために適切な投入がなされているか？	質問票およびプロジェクト関係者からのヒヤリング		アウトプット4の投入は不十分である。
		投入の適正度	より費用対効果の高いやり方が考えられるか？			特になし。
			関係者・住民の間で(過去3年間に)コンフリクトがおきていないか？			イザベラ漁協のリーダーが交替し、方針が変わったため、コンフリクトが起きた。
		活動からアウトプットにいたるまでの外部条件の充足度	JMP/AIMが存続しているか？			存続しているが、USAIDによるJMPコーディネーターの人権費負担は2006年9月で終了予定。その後の用途はたっていない。
			大規模な海洋汚染が(過去3年間に)起きていないか？	プロジェクト資料および関係者からのヒヤリング		起きていない。
			都市(陸域)からの汚染が急激に増加していないか？			報告されていない。
			漁獲努力量が(過去3年間に)大幅に増加していないか？			増加していない。
		その他に外部条件が存在するか？	質問票およびプロジェクト関係者からのヒヤリング		特になし。	
	投入のタイミング・質・量	投入の適正度	専門家の人数、タイミング、分野は適正か？			チーフアドバイザーと環境教育専門家の投入が遅れた。また、アウトプット1は現地雇用スタッフが担当している。
			供与機材の種類、機種、数、タイミングは適正といえるか？			選考の段階で専門家CPと協議しており、適切であるといえる。
			研修員の受入れタイミング、人数、研修内容は適正と言えるか？			年間3〜4名という人数は、PNGの規模を鑑みて適切といえる。研修内容および期間については意見が分かれており、特定の分野のスタッフは技術を覚えるのに時間がかかると回答している。
			プロジェクト運営費の量とタイミングは適正といえるか？	質問票、視察、プロジェクトおよびJICA本部からの報告		現地雇用の人件費が高く、一時期は年間活動費の50%近くまで達していた。
			活用されていない投入はあるか？			なし。
			配置されたCPの人数、タイミング、分野は適正と言えるか？			2006年6月現在、アウトプット毎にCPが配置されていたが、アウトプット3と5以外は専任でなく、PNGの通常業務で多忙なため活動に専念できていない。また、プロジェクト開始当初は、CP不在のアウトプットもあった。
			プロジェクト運営費は両国間で適正に分担されているか？			分担されている。
提供された施設設備の規模、タイミング、質は適正といえるか？					専門家着任当初から執務室・車・通信機材等が適切に供与された。	
上位目標達成の予測	上位目標(住民参加による、ガラバゴス海洋保護区生態系の維持・保全活動)がプロジェクト終了後3〜5年で達成できる見込み	JMP(参加型管理委員会)とAIM(組機間管理委員会)の機能が強化され、住民から指示を受けるようになりそうか？			アウトプット1の活動で、JMPの決定事項がニュース速報でガラバゴス全土に伝達されるようになったことで、住民の理解が進んでいる。	
		ガラバゴス特別法の規定が適切に運用され、住民へ広報されるようになりそうか？			この機能は、INGALAの管轄である。	
	上位目標の達成を阻害する要因の有無	社会経済的要因、社会文化的要因などの状況は変化していないか？	質問票		人口と観光客が急激に増加している。	
		上位目標とプロジェクト目標は乖離していないか？(上位目標は、プロジェクト終了2〜3年後に達成できるか？)			乖離というより、達成可能時期で上下逆転している。	
因果関係	プロジェクトのロジックの適正度	上位目標とプロジェクト目標は乖離していないか？(上位目標は、プロジェクト終了2〜3年後に達成できるか？)			すでに増加傾向にある。	
	プロジェクト目標から上位目標にいたるまでの外部条件が充足する可能性	観光客が急激に増加する可能性はないか？				

評価項目	評価設問		必要とするデータ・情報源	評価結果
	大項目	小項目		
6. インパクト	波及効果	想定外のプラスの影響の有無	ガラバゴスで活動する他の機関への波及効果の事例はあるか？ 政策、法律・制度への影響、ジェンダー・人権への影響、貧富の差など社会・文化的側面への影響、技術面での変革、対象社会・プロジェクト関係者・受益者などへの経済的影響があるか？	質問票および関係者へのヒヤリング 海洋および水質モニタリングの技術はCDFに波及している。 ラジオ・テレビによるGMRの放送はPNGと漁民のイメージを高め、双方の関係改善に貢献している。
		想定外のマイナスの影響の有無	ガラバゴスで活動する他の機関へのマイナスの影響の事例はあるか？ 政策、法律・制度への影響、ジェンダー・人権への影響、貧富の差など社会・文化的側面への影響、技術面での変革、対象社会・プロジェクト関係者・受益者などへの経済的影響などがあるか？ 負の影響が生じている場合、何か対策がとられているか？	質問票および関係者へのヒヤリング 特になし。 地元住民に対する度重なるインタビューが住民に不必要な期待を抱かせている。また、COEEオープンニングの遅れにより、一部の住民が建設そのものを浪費と誤解している。さらに、地元住民はJICAが浄化槽などの汚水対策施設を建設すると期待している。 CCEEのオープンに伴い、住民のイメージは改善すると思われる。
7. 自立発展性	政策・制度面	政策的支援は協力終了後も継続するか。	住民参加型の海洋保護区生態系保全に対する環境省の支援は、協力終了後も得られそうか？	質問票および関係者へのヒヤリング ガラバゴスに対する環境省のコミットメントは高いが、大臣の意向による不確定要素も残されている。
	組織面	協力終了後のPNGの組織能力	PNGの事業実施能力や調整能力は向上しているか？ PNGの年間計画および予算の執行状況はプロジェクトの効果を維持するに十分か？	質問票および関係者へのヒヤリング 人権費削減のため、相対的に仕事量が増加し、事業実施能力は部分的に下がっている。突然、環境省(大陸)に呼び出されるなど、PNG内部および環境省の調整が取れていない時が多い。 PNGの年間予算は増加傾向であり、活動費用も充分である。
	財政面	PNGの経常予算の安定度	PNGの過去5年間の予算は安定しているか	PNG資料 人件費以外は安定している。
	技術面	移転した技術の定着と普及の可能性 効果を持続させるための促進要因と阻害要因	CPIは定着しているか？ 移転した技術は活用されているか？ プロジェクトで実施支援した各種活動は持続可能か？ 他島への普及は考えられているか？ 施設・機材は維持管理されているか？ プロジェクトで得られた効果が引き続き発現してゆくために必要な要因は何か？ プロジェクトで得られた効果が引き続き発現してゆく際に阻害要因となるものは何か？	質問票および関係者へのヒヤリング プロジェクト開始以降、プロジェクト・ディレクターであるPNG局長は6人交代している。 アウトプット3と4を中心に活用されているといえる。 アウトプット1のマスメディア活動は、プロジェクトが雇用した現地スタッフの個人的な技量に頼るところが多く、技術移転も進んでいないため、何らかの対策を取らない限り持続性は低い。 特段考えられていないが、アウトプット1の効果により情報はガラバゴス諸島全体に伝えられている。 良好に維持されている。 政治的な安定、特に漁協リーダーシップの安定が必要である。 急激な移民の増加に伴う、想定外の環境負荷の発現。
8. 軌道修正の必要性	このままでプロジェクト目標の達成は望めるか？		上記項目の評価結果を受けて関係者間で協議	2年半での達成は難しい。
	投入、活動、アウトプットの内容を軌道修正する必要はあるか？			アウトプット4の変更が必要である。
	プロジェクトに影響を与える新たな外部条件はあるか？			特になし。
	運営指導調査時に指摘された問題・課題に対応しているか？			CPの確保、関係機関との連携強化、JCCの開催、効率性の検討などの指摘された課題に前向きに対応している。
	事前評価時に認識された問題・課題・リスクなどは、どのように変化しているか？			人口流入および観光客は急激に増加しており、プロジェクトの影響が懸念されている。
	今後留意していかなければならないことは何か？			意思疎通と情報共有。



日本人専門家 質問票集計結果

有効回答数 4 名:長濱幸生、秋元陽子、宮脇あゆ子

**A1** 2005 年 2 月の運営指導調査時に変更された PDM と PO は適切だったと思いますか。現時点で考えて不適切であった(無理があった)と考えるアウトプットや活動があれば指摘し、その理由を記述してください。

- 汚水モニタリングプロジェクトに関し、インフラ建設をする裏付けがないのであれば、住民参加を促す活動は難しいと思われる。(宮脇)
- Output 5 漁業コミュニティ関連の活動(代替収入源の調査・提案) 違法漁業による収入増を体験してしまっているの、それ以上の収入を確保できる案を提示しなければ納得されないのではないか。(秋元)
- プロジェクト目標の「住民参加による、海洋保護区生態系の維持・保全活動が推進される」において、住民がどのように参加するのか不明確である。なぜならば、住民と海洋保護区生態系との関連は非常に薄いから。住民に期待することが明確になれば、個々の活動内容も目的を絞った活動になると実感している。すなわちプロジェクト終了時に予想、期待される図が不明確である。PDM 4 の「住民による汚水対策活動」とあるが、どのような活動を想定していたのか不明。たとえば、リンの少ない成分の洗剤を使うことなどなのだろうか?(長濱)
- PDM 4 の指標 4.1 の「水質に関する指標が改善する」とあるが、過去の水質調査データが乏しく、比較が困難である。また、住民が汚水対策活動をして短期間で大腸菌数や BOD、COD の値は変化しないことや、比較する過去のデータがないために指標として不適切。(長濱)
- PDM 4.6 の活動「パイロット的インフラを建設する」については、目的が不明である。汚水は一般に下水だけでなく、家庭排水も含むことから目的を明確にする必要がある。私が赴任するまでとくに何の活動もなされておらず、実行するならば短期専門家の要請を検討したい。仮に実行しても各家庭に普及させることは費用がかかることから費用対効果は低いと予想される。(長濱)
- PDM 5.2 の活動「漁業コミュニティの知識と能力を増強する」の目的が不明である。(長濱)
- PDM 5.5 の活動「海洋資源に関するワークショップを住民対象に実施する」目的が不明である。住民生活は海洋資源と関係が薄い。資源の話では漁師の乱獲を住民に伝えることになるが、漁師の乱獲を住民に伝えることはかえってプロジェクトに負の影響があると考え。環境教育で教える内容の一つに組み込むことができると考える。(長濱)
- PO5-2-2 のパイロット調査は PMG、漁協、ダーウィン研ですで行われており不要。(長濱)

**A2** 本プロジェクトのデザインは、プロジェクト目標を達成するうえで適切だとお考えですか。アウトプットや活動の過不足や活動計画の改善点などありましたらご指摘ください。

- 参加型での環境保全を目指すのであれば、プロジェクト目標にしる、成果目標にしる、現状の PNG の人員体制と JICA のインプットとプロジェクト期間ではでは実現が厳しいかもしれない。PNG を実施機関に選んだ以上、PNG の 5 年管理計画になるべく沿いながら、プロジェクトが孤立しないように組み込んで行く必要がある。(宮脇)
- 活動内容が多岐にわたり、専門家・CP の人員が不足する現状では目標達成に時間がかかる。(秋元)
- A1 の問いで答えたように、プロジェクト目標の「住民参加」というキーワードをどのように考えるかに尽きると思う。プロジェクトのメンバーがあいまいなプロジェクト目標に対する共通認識をもつ必要がある。本プロジェクトに最も欠けている点である。共通認識という軸があれば、環境教育と調査活動や住民にデータ公開、漁業者との活動が互いに今以上に絡

み合い相乗効果を及ぼすことができると考える。(長濱)

- ガラパゴス諸島海洋環境は海洋保護区であるために、住民と海洋保護区生態系との接点は少ない。住民と海洋環境との主な接点は地下水であり、陸水の水質調査を住民に公表し、環境に配慮した生活を広報することは有効な活動であるといえる。(長濱)
- PNG は人員削減や公園局の体制が不安定である。このような状況のカウンターパートと活動を推進してゆくには PNG の興味にもあわせて活動することが不可欠である。本プロジェクトの活動は PNG の興味にも沿ったものである。ただし、相手側に人的資源の限界があり、活動が若干多過ぎるように感じる。(長濱)
- 海洋保護区生態系に影響を及ぼしているのは漁民と船で来る観光客である。特に漁民によるイセエビ、ナマコの乱獲は海洋生態系に対し大きな脅威である。すなわち漁民や観光組合を対象にした活動の割合が増加した方がプロジェクト目標を達成するためには有効かつ適切であると考えられる。しかしプロジェクト目標では「住民」が対象であり、プロジェクトにおける住民対象活動と、漁民対象活動のバランスをいまより明確にする必要がある。(長濱)
- 活動5は絞り込みが必要であると考えられる。なぜならば、計画は多岐にわたっているがほとんど実行されずにいるから。(長濱)

**A3** 本プロジェクトは、ドナーを含む内外の関係者(ステークホルダー)が多いプロジェクトですが、どのような調整を行っていますか。アウトプット毎に異なる場合は、ご担当部分をお答えください。また、活動の実施体制は、ご担当のアウトプットを算出するために十分機能しているとお考えですか？

- 環境教育/コミュニティ活動(女性グループ支援)に関しては関係者が多いが、広範な住民の参加を促進する上で必要である。ミクロな活動ごとにメインとなるターゲットやコラボレーション形態を変えているが、それぞれに別個な役割が付与されており、活動が進むに連れて、バラバラに始まった活動がいずれはひとつの線上に結ばれ、同じベクトルに向かって進んでいるので、問題はとくに見当たらない。ただし、合同調整委員会に PNG 以外のステークホルダーが多いのはあまり意味がない。(たとえば INGALA が含まれているのに市役所や FCD が含まれていないことなど、現状に即していない)(宮脇)
- 各ドナーの採集目標は当プロジェクトと一致するが、やり方が違うので調整が難しい。また、CP 機関である公園局の体制不備と JICA の技プロに対する認識がまだ不十分である。(秋元)
- 4 月に赴任したので、まだ関係者間の調整を行ってはおられません。しかしダーウィン研の研究者とは共同で調査を行いたいと考えている。しかしこれまで会えていない。理由は相手が出張や、カウンターパートの不在である。調査結果の公表については、関係者と共同で発表会を開く。たとえば水質に関しては市役所。(長濱)

**A4** 日本側、エクアドル側それぞれの投入規模およびタイミングは適切だったとお考えですか(注:投入にはローカルコンサルタント、現地スタッフ、ボランティアを含みます)。現時点で考えて、不十分あるいは不適切であったと思われる投入があればアウトプット別に指摘し、投入と各アウトプットの達成率についてあなたの評価を述べてください。

アウトプット	投入規模が不十分あるいは過剰であったもの	投入のタイミングが不適切であったもの	評価(投入に見合った成果があがっているか)
1) 海洋保護区管理情報が漁業コミュニティに伝達される	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エクアドル側にインプットはあまり見られない(宮脇)</li> <li>● 専門家の不足(秋元)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 活動計画が承認され、予算が降りるまでに時間がかかった。(宮脇)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● まずまず(宮脇)</li> <li>● 現地スタッフにより成果があがりつつある(秋元)</li> </ul>
2) 地元住民の環境理解が促進される	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ビジターセンターに関する投入は、時間的ロスによる機会損失を考えると、展示やインフラ設置、家具の設置まで含めて日本側の投入にした方がよかったかもしれない。カウンターパートの参加があまりみられ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● プロジェクト開始から1年半経つまで投入規模が現場の誰にもわからなかったところに問題があった(宮脇)</li> <li>● 短期専門家の未派遣による計画策定の遅れ(秋元)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 土地問題が勃発したため、投入に見合っていないが、基盤はあるので、問題がクリアになれば進捗は早いと思われる。(宮脇)</li> <li>● 現地スタッフ、専門家により成果があが</li> </ul>



	ない(宮脇)		りつつある(秋元)
3) 海洋生物と海洋環境の情報が增加する	<ul style="list-style-type: none"> <li>• PNG にキャパがない上に専門家の投入が足りなかった(宮脇)</li> <li>• CP 不足(秋元)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 長期専門家の投入(宮脇)</li> <li>• 機材選定(秋元)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 遅れている(宮脇)</li> <li>• 機材整備によりこれからの成果が期待される(秋元)</li> </ul>
4) 住民による汚水対策活動が推進される	<ul style="list-style-type: none"> <li>• インフラをのぞけば十分である。(宮脇)</li> <li>• CP 不足(秋元)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 長期専門家の投入(宮脇)</li> <li>• 専門家が継続派遣されなかった(秋元)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• カウンターパートへの技術移転は進んでいる(宮脇)</li> <li>• 結果は得られるが、成果は今後の活動による(長濱)</li> </ul>
5) 伝統漁民のための持続的資源管理活動が支援される	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 日本側のそもそもの予算が少ない(宮脇)</li> <li>• 専門家不足(秋元)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 活動計画が承認され、予算が降りるまでに時間がかかった。(宮脇)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 遅れている(宮脇)</li> </ul>

- 予想不可能だったと思うが、相手側の体制が非常に不安定で、技術協力活動が困難な状況下で活動を開始したことは相手側にとってもプロジェクト側にとっても不幸であった。プロジェクト内容を理解していない、ローカルコンサルタントを雇ったことも不幸であった。PNG の人的資源の不足は未解決な大きな問題である。(長濱)

**A5** PDM や PO に示された活動やアウトプット、外部条件などのモニタリングはどのような体制で行われていますか？モニタリング結果は、プロジェクト活動にどのようにフィードバックされていますか？また、モニタリングを実際やってみて入手が困難な指標があれば教えてください。さらに、その場合、代替となる指標について適切なものがありましたらご提案ください。

- 半年に 1 度、カウンターパート機関幹部およびカウンターパートとの会議により成果をモニタリングしている。また、ターゲットグループとも半年に 1 度活動計画を見直しながら進めている。指標に関しては、まだ開所していないビジターセンターの利用がベースになっているので、今の所指標としては使えていない(宮脇)
- 年間計画に基づき各担当者によりモニタリングされている。(秋元)
- イサベラ島にキトからの飛行機が入ることもあり、プロジェクト目標の外部条件「観光客の急激な増加」が起きることが容易に想像できる。(長濱)
- 住民の増加により環境負荷が増加している。(長濱)
- 活動の外部条件1の「関係者・住民の間でコンフリクトがおきない」はすでに漁民対ダーウィン研などの環境保護派の対立がある。(長濱)
- PDM 4.1 の水質に関する指標が改善するとあるが、過去の水質調査データが乏しく、比較が困難であり、指標として適切ではない。代替案として、「データベースの数と記録が増加する」を提案する。(長濱)

**A6** プロジェクト活動への支援については、下表のようなものがあると思いますが、それらはプロジェクト活動の円滑化、活性化に有効に機能したでしょうか。現場からみた意見を率直にお聞かせください。

プロジェクト活動への支援	現場からみた意見 (プロジェクト活動の円滑化、活性化に有効だったかどうか)
① エ国環境省からの支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 弱い(宮脇)</li> <li>• 大陸部でどれだけ理解されているか不安(秋元)</li> <li>• 正直なところ実感が無いが、Morina 女史の局長任命はプロジェクトに対し有効であった。(長濱)</li> </ul>
② 合同調整委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 弱い(宮脇)</li> <li>• 双方認識の確認に役立っている。(秋元)</li> <li>• 参加していないのでコメントできない。(長濱)</li> </ul>
③ 国内支援委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 弱い。むしろ朝令暮改で混乱を招いている(宮脇)</li> <li>• 専門家リクルート、機材選定(秋元)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• これまで以上の具体的支援を期待したい。(長濱)</li> </ul>
④ JICA 本部からの支援(運営指導調査を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 弱い。むしろ朝令暮改で混乱を招いている(宮脇)</li> <li>• 特殊事情の理解不足(秋元)</li> <li>• 水質関連短期専門家の報告書と供与機材は有効であった。(長濱)</li> </ul>

A7 本プロジェクトが重点的に取り組んでいる活動の中で、日本の技術や経験の比較優位性が高い分野はどれですか？できるだけ具体的にご回答ください。

- 住民参加型プロジェクトであるので、日本の環境の中での成功例が必ずしも現地の環境のなかで優位性が保たれるとは限らないので、一概にはいいにくい。(宮脇)
- Output 3, 4 関連のデータベース作成。Output 2 施設内容の充実(秋元)
- 成果3、4、5のいずれも(長濱)

A8 本プロジェクトの実施によりどのようなインパクトがありそうですか？下表の各項目について具体的にお気づきの点があれば記述してください。なお、評価の欄には、A: すでに大きく貢献している、B: 貢献し始めている、C: 今後貢献する見とおし、D: ほとんど貢献は見込まれない、の4段階で評価し、記号を記入してください。

プロジェクトのインパクト	評価 (A~D) 具体的にお気づきの点
• PNG の仕事に対する意欲の高揚	B: 契約制度がかわれば良くなる(秋元) C: (宮脇) (長濱)
• サンタクルス島住民の環境保全意識の高揚	C: 生活に密着する部分がなければ難しい(秋元) C: (宮脇) (長濱)
• イザベラ島住民の環境保全意識の高揚	B: (秋元) C: (宮脇)
• イザベラ島住民の生活改善	C: (宮脇) C: (秋元)
• PNG 以外の関係機関の能力向上	C: (宮脇) (長濱) D: 利害関係があるので難しい(秋元)
• 関係者間の関係強化	B: (宮脇) (長濱) D: 利害関係があるので強調は難しい(秋元)
• プロジェクトで実施している活動の他地域への波及	C: (秋元) C: (宮脇) C: 他地域から水質調査の要請がある。PNG 職員も調査を希望している。(長濱)
• JMP 機能の強化	B: 情報伝達分野での貢献(秋元) B: (長濱) D: もう少し投入ができれば、あるいは外部条件になるが、他ドナーからの援助が復帰すれば、現在の計画でも貢献できる可能性はある(宮脇)
• ガラパゴス海洋保護区生態系の維持・保全体制が強化される	B: 国自体が人(ドナー)まかせの姿勢(秋元) C: JMP が機能することがカギ。(長濱) D: 住民の意識向上ができたとしても、5 年間で生態系の維持や保全体制が大幅に向上する事は見込めない(宮脇)
• その他( )	

A9 本プロジェクトが引き起こしそうなマイナスのインパクトはありませんか？ありそうな場合は具体的に記述してください。(例えば、環境保護推進派と開発派の意見の対立、女性の参加による家庭内の不満、エコツーリズムの振興による環境および住民へのマイナスの影響など) マイナスインパクトがある場合、それを軽減するような対策は取られていますか？

- プロジェクトが今までのようにコミュニティにコミットしたことを実現しないということを繰り返して行けば、PNG に対する評価によりマイナスな影響を及ぼす可能性がある。(宮脇)

- 日本の援助には地元民は好意的だが、保全にばかり肩入れしていると思われる。(秋元)
- 水質調査報告により、住民が市役所に対してインフラ整備を求めるかもしれない。対策としては市役所とも密に情報交換しつつ、共同で調査結果を公表することを計画している。(長濱)

**A10** これまでの日本の技術協力は、PNG およびそのスタッフの知識・能力向上にどの程度貢献したと思いますか。次の表にご記入ください。なお、評価欄には A: すでに大きく貢献している、B: 貢献し始めている、C: 今後貢献する見とおし、D: ほとんど貢献は見込まれない、の4段階で評価し、記号を記入してください。

自立発展の見通し	具体的にお気づきの点
• PNG スタッフ個人の知識・能力の向上	A: 分野を限れば意欲的なスタッフがいる(秋元) C: (宮脇) (長濱)
• PNG の施設・機材の整備	A: ハイテク機材の投入(秋元) B: (宮脇) 調査の経験不足
• PNG の事業実施能力の向上	B: 新局長の理解がすすんでいる(秋元) C: 調査の経験不足(長濱) D: 雇用体制が流動的であり、不確実である(宮脇)
• PNG の業務調整能力の向上	B: 内部の連絡・調整能力に欠ける(秋元) C: (長濱) D: ガラパゴス全体の政治的不安に問題がある(宮脇)

**A11** ご担当の活動はプロジェクトが終了後も継続される見とおしでしょうか。それぞれの現状と活動の持続性にかかる問題点、課題を記述してください。

- 現在の所、アシスタントをしているローカルスタッフに対して技術移転がある程度行えたという状態なので、今後その知見がカウンターパートに伝わり、それが学校なり、協力機関などに波及して行くまでにもう少し時間がかかると思うが、公園の5年管理計画どおりにすすんでいけば、予算的にも人的にも継続は可能である。(宮脇)
- 水質調査は予算次第である。現在廉価な方法を計画、実施しているが、継続するには年間20万円弱の予算が必要と思われる。イセエビの調査についてカウンターパートは興味を持っているので継続の可能性はある。仔稚ナマコの調査は、活動が始まっておらず不明であるが、JMP からの要求があがり、継続可能性はあると考えられる。その他 プロジェクトディレクターや海洋保全部との関係が薄いと感じる。プロジェクトはよりPNG に密接に絡む必要がある。PNG とより密接に仕事をすれば活動継続の見通しはあると考える。(長濱)
- 

ありがとうございました。

## カウンターパートおよび現地雇用スタッフ 質問票集計結果

有効回答数：カウンターパート 8 名、現地雇用スタッフ 3 名、合計 11 名

カウンターパート：Fabian Oviedo (FO)、Eduardo Espinoza (EE)、Javier Lopez (JL)、Danny Rueda (DR)、Marco Hoyos (MH)、Edumundo Perez (EP)、Washington Tapia (WT)、Maria Isabel Daza (MD)

現地スタッフ：Xavier Castro (XC)、Martha Chica (MC)、Karina Jaramillo (KJ)

**B1 PDM/PO およびモニタリング体制について：**このプロジェクトの PDM と PO を知っていますか？知っているとすれば、プロジェクトの実施に活用していますか？

はい(7)	いいえ(1)	無回答(3)
コメント： ▶ 活動に取り入れるための努力をしている(XC) ▶ 人付き合いをもっと良くする必要がある。(MH) ▶ プロジェクト計画時に相談されていない。(EP)		

**B2 プロジェクトのデザインについて：**現在のプロジェクトは、プロジェクト目標を達成するために有効にデザインされていると思いますか？あまり有効と思えないアウトプットや活動がありますか？

▶ 上位目標とプロジェクト目標は重要であると思うが、計画時に PNG の教育およびコミュニケーション担当者と十分に協議していなかったため、活動に不備がある。(XC) ▶ プロジェクトが計画された時は、各部長は相談されなかったが、効率的に実施されている。(FO) ▶ 効率的である。(MC) ▶ PDM を見直す必要がある。(MH) ▶ そうだと思う。(KJ) ▶ わかりません。(MD)
--

**B3 実施について：**各アウトプットを達成するために計画された現在の活動は、計画どおりに実施されていると思いますか？A: 計画どおりである、B: 多少おくれが見られる、C: かなり遅れているの 3 段階で評価し、その理由を記載してください。

アウトプット	評価結果
1) 「海洋保護区管理情報が漁業コミュニティに伝達される」というアウトプットを達成するために行われている活動	▶ CP がいないにも関わらず、以下の活動が達成されている。(XC) 1-1 社会経済状況調査(完了) 1-2 COPROPAC の HP デザインが完成し、アップロード中。 1-3 漁協メンバーと常時協議している。 1-4 Galapagos Profund (ラジオ・TV) でニュースを流している。A: ラジオと TV による情報の流れがあり、近いうちに PNG の HP ができる。(XC) ▶ (MC) ▶ セクターの代表者と定期的な会議が行われているから。(JL)
	▶ エクアドル政府の不安定さ、突然の変更により、部分的にしか達成できていない。(WT)
	▶ 一度も会議に呼ばれていません。(MD)
2) 「地元住民の環境理解が促進される」というアウトプットを達成するために行われている活動	▶ (MC)

	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 現地住民の自覚を高めるキャンペーンがない(JL)</li> <li>➢ エクアドル政府の不安定さ、突然の変更により、部分的にしか達成できなかった。(WT)</li> <li>➢ インタープリテーションセンターがオープンしていない。</li> <li>➢ PNG の運営が十分でない(2.3)(XC)</li> <li>➢ 漁業セクター向けの環境教育戦略が欠けている。(2.2)(XC)</li> </ul>
	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ビジターセンターの場所が変更された。環境教育の戦略について、CP の参加が不足している。(MH)</li> <li>➢ 専門家による環境教育の戦略策定について相談されていない。ビジターセンターの建設場所が移された。(EP)</li> <li>➢ 知識を移転するための専門家がいなかった。ビジターセンターの場所が移された。(MD)</li> </ul>
	他	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 何時からのことですか？(EE)</li> </ul>
3) 「海洋生物と海洋環境の情報が増加する」というアウトプットを達成するために行われている活動	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ (MC)</li> <li>➢ 調査のニーズはある。現在漁業セクター、CDF、PNG とともに調査を働きかけている。(稚えび調査)(XC)</li> <li>➢ ガラパゴス海洋保護区で行われているモニタリングを通じて(JL)</li> </ul>
	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ エクアドル政府の不安定さ、突然の変更により、部分的にしか達成できなかった。(WT)</li> </ul>
	他	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ わかりません。(MD)</li> </ul>
4) 「住民による汚水対策活動が推進される」というアウトプットを達成するために行われている活動	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 一年近く JICA の専門家がいなかった(DR)</li> <li>➢ 適切な対策を提案する前に統計的に有効な結果が必要であるから(WT)</li> <li>➢ 分析の結果と調査はあるが、住民は汚染対策を要求している。(MC)</li> <li>➢ 分析の結果発表が遅く、汚染対策の具体的な措置が遅れている。(XC)</li> <li>➢ 資金が不足している。(JL)</li> </ul>
	他	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ わかりません。コミュニケーションが不足しています。(MD)</li> </ul>
5) 「伝統漁民のための持続的資源管理活動が支援される」というアウトプットを達成するために行われている活動	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ (MC):</li> <li>➢ ワークショップの開催と、漁業カレンダーの作成を通じて結果が得られている。(JL)</li> <li>➢ (KJ)</li> </ul>
	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ エクアドル政府の不安定さ、突然の変更により、部分的にしか達成できなかった。(WT)</li> </ul>
	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ PDM が頻繁に変更されているから(EE)</li> <li>➢ イザベラの女性グループ支援だけが進んでいる。(XC)</li> <li>➢ その他の活動ができていない。(XC)</li> <li>➢ 漁業セクターの関心を得られていない(EE)</li> </ul>
	他	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ JICA・PNG の中で情報が不足しています。(MD)</li> </ul>

- 活動の遅れが生じたのは、2005 年 9 月まで PO の承認がなく、投入が得られなかったから。(EE)

**B4 指標について:** PDM に記載されている指標は、各アウトプットの達成度を測定するのに適切だと思いますか？ A: 適切である、B: 適切ではないの 2 択で答えた後、代替指標があれば、提案してください。

評価結果と代替指標		
アウトプット1 「海洋保護区管理情報が漁業コミュニティに伝達される」の指標	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 漁業カレンダーが守られている。(JL)</li> <li>➢ (WT)</li> <li>➢ (MC)</li> </ul>
	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 指標が一般的なもので、特定の指標に変更すべき(EE)</li> <li>➢ 1.2 の指標が適切ではない。漁民の HP のアクセスが増加しても、漁民達がアクセスしているとは限らない。(XC)</li> <li>➢ もしかしたら、指標を代えなければいけないかもしれない。(FO)</li> </ul>
アウトプット2 「地元住民の	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ (WT)</li> </ul>

環境理解が促進される」の指標	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 教育コースを合格する生徒の数、および活動に協力するボランティア数(MC)</li> <li>➤ 指標が一般的なので、特定の指標に変更すべき(EE)</li> <li>➤ 汚染(JL)</li> <li>➤ コンセンサスを得て再度指標を設定しなおす必要がある。(MH)</li> <li>➤ 相談されなかったので、わかりません。(EP)</li> </ul>
アウトプット3「海洋生物と海洋環境の情報が増加する」の指標	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ (WT)</li> <li>➤ (MC)</li> </ul>
	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 指標が一般的なので、特定の指標に変更すべき(EE)</li> <li>➤ 禁漁期間になまこが捕獲されている。(JL)</li> </ul>
アウトプット4「住民による汚水対策活動が推進される」の指標	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ (WT)</li> </ul>
	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 水質モニタリングに参加する人数(MC)</li> <li>➤ 指標が一般的なので、特定の指標に変更すべき(EE)</li> <li>➤ 軽減措置の普及が足りない。(JL)</li> <li>➤ 2009年までにPNGがコミュニティのための水質モニタリングシステムを構築する。(DR)</li> </ul>
アウトプット5「伝統漁民のための持続的資源管理活動が支援される」の指標	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ (WT)</li> <li>➤ (KJ)</li> </ul>
	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 提案され、実施された代替収入案のおかげで得られた収入増加の度合い。(MC)</li> <li>➤ 指標が一般的なので、特定の指標に変更すべき(EE)</li> <li>➤ 漁業の代替活動(JL)</li> </ul>
プロジェクト目標「住民参加による、海洋保護区生態系の維持・保全活動が推進される」の指標	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ (WT)</li> <li>➤ (KJ)</li> <li>➤ (MC)</li> </ul>
	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 指標が一般的なので、特定の指標に変更すべき(EE)</li> <li>➤ 人材不足(JL)</li> </ul>
上位目標「ガラパゴス海洋保護区生態系の維持・保全活動が推進される」の指標	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ (WT)</li> <li>➤ (KJ)</li> <li>➤ (MC)</li> <li>➤ NGOの存在があるから(JL)</li> </ul>
	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 指標が一般的なので、特定の指標に変更すべき(EE)</li> </ul>

- 2005年1月のPDMの指標が策定されたが、実際の活動が始まったのが2005年の10月であるから。

**B5** 関連団体との協調について:ガラパゴスには多くの援助機関やNGOが活動しています。あなたは、どのように協力団体と活動の調整や協力を行っていますか?

<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 作業の重複をさけるために、活動計画を他のドナーにも提出し、活動を調整している。現時点では、CDF・WWFに提出している。WWFとは、共同で、体験型漁業プロモーションキャンペーン(5.3)を行っている。(XC)</li> <li>➤ 調整はCDF・WWFと行っている。(FO)</li> <li>➤ 教育プログラムの中で、授業を実施できる人の支援を他のNGOに依頼する。(MC)</li> <li>➤ 私の場合、JICAの活動をPNGのオペレーション・プランの中に入れ込んでいる。(EE)</li> <li>➤ 調整は行っているが、今までの活動は海洋保護区のユーザー全体の調整は行われていない。(JL)</li> <li>➤ 水の汚染度の指標を求めためARAUCARIA 21とコンサルタントの支援について調整した。(DR)</li> <li>➤ 国の予算と年間オペレーション計画に従って活動している。(MH)</li> <li>➤ 国の予算と年間オペレーション計画に従って活動している。(EP)</li> <li>➤ 資源の無駄になるような活動の重複を避けるために、各プロジェクトの年間計画を他の似たようなプロジェクトと調整しながら作成した。そのため、良い結果につながっている。(WT)</li> <li>➤ 一度も会議に呼ばれていないので、わかりません。国の予算と年間オペレーション計画に従って活動している。(MD)</li> </ul>
---

**B6** 投入および効率性について：日本側およびエクアドル側は、適切な投入を行っていると思いますか？不適切な投入、あるいは投入の遅れがあればアウトプット毎に明記してください。

	適切でない投入	延滞した投入
全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部の日本人専門家がスペイン語を使えず、コミュニケーションに制約があった。(WT)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての遅れは、PNGの人材不足であった。CPとして専任を配置することができなかった。ただし、これは、国の問題のため、改善は困難。(WT)</li> </ul>
アウトプット1		<ul style="list-style-type: none"> <li>CPがない。積極的に活動に参加するCPが必要。(XC)</li> <li>CPの日本研修が必要(MC)</li> <li>CPの採用(EE)</li> </ul>
アウトプット2		<ul style="list-style-type: none"> <li>CPのコミットメントが必要(MC)</li> <li>ビジターセンターに関する日本の支援が家具を含めていたらもっと早くオープンできたはず。(MC)</li> <li>環境教育の技術的なアドバイスが遅れている(MH)</li> <li>環境教育の技術的なアドバイスが遅れている(EP)</li> <li>環境教育の技術的な支援(MD)</li> </ul>
アウトプット3		
アウトプット4		<ul style="list-style-type: none"> <li>CPの参加が十分ではない。(XC)</li> </ul>
アウトプット5		

**B7** カウンターパート研修について：日本での研修を受けていますか？その場合、研修内容は適切でしたか？改善点があれば、お答えください。

- 研修内容が終わらなかった。(DR)
- 研修というよりは、関係箇所を視察した。(EP)
- 研修内容は、非常に良かった。私の知識の増加につながった。提案として、研修計画の際に、研修生の意見を取り入れ、関心の高い研修項目をいれてくれるとより効果的であると考え( WT)

**B8** 妥当性について：日本の技術は海洋保全のどの分野に秀でていると思いますか？

- オーディオビジュアル制作(XC)
- オーディオビジュアル制作(FO)
- ガラパゴス諸島の植物とプランクトンの調査研究を行うと、政府と住民の役に立つと思う。(JL)
- 海洋研究と漁業管理(MH)
- ビジターセンターの資機材面(EP)
- 日本はガラパゴス海洋保護区に適用できる多くの技術をもっているため、エクアドルに協力できる分野は広いと思う。(WT)

このプロジェクトはエクアドル政府の環境政策や住民にニーズを鑑みて妥当だと思いますか？

- このプロジェクトは重要だと思う。(MC)
- このプロジェクトは漁業管理・漁協の組織化・資源回復プログラムの面で、住民と PNG を結びつける重要なプロジェクトである。(EE)
- プロジェクトがまだ妥当であるかどうかは、はっきりと言える。現在 RMG の最大の問題に答えようとしているから。(WT)
- 日本がどの分野で進んでいるのかわかりませんが、プロジェクトは妥当であると思います。(KJ)

**B9** 効果について: 2009年までにプロジェクト目標が達成できると思いますか?

はい	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ PNGの参加が得られれば(XC)</li> <li>➢ 共同作業を継続すれば(FO)</li> <li>➢ ガラパゴスコミュニティ全員の積極的な参加が得られれば(MH)</li> <li>➢ 専門家とCPの間にもっとオープンな姿勢があれば、達成できる(EP)</li> <li>➢ 目的は達成できると思うが、実践的な活動についての調整が必要。(WT)</li> </ul>
いいえ	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 住民の考えの変化を求めるには5年以上必要である。そして、すべての関連組織の運営面での安定性が必要。(MC)</li> <li>➢ 期待が大きい割に投入が十分でない。しかし、このプロジェクトで達成できる目標の一つはコミュニティのインテグレーションである。(EE)</li> <li>➢ 最初の数年間はGMRの情報収集とモニタリングに費やしたので、目的の達成は困難と思う。(JL)</li> <li>➢ 結果は長期にわたってでてくるからプロジェクトを5~6年延長する必要がある。(KJ)</li> </ul>

**B10** インパクトについて: このプロジェクトは以下のようなインパクトに貢献できると思いますか? A:すでに貢献している、B:貢献し始めている、C:将来貢献できる、D:貢献は難しいの4段階で評価し、その理由を述べてください。

想定されるインパクト		評価結果
PNG 職員のモラルの向上	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 作業チームへの支援があった。(FO)</li> <li>➢ 協力している(JL)</li> </ul>
	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ (DR)</li> <li>➢ (直接働いている人)(XC)</li> </ul>
	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 学んだ内容を実行に移す必要がある。(MH)</li> <li>➢ プロジェクトはあまり知られていない(EP)</li> <li>➢ (KJ)</li> <li>➢ (MC)</li> </ul>
	D	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ (CP一般)(XC)</li> </ul>
関係機関の運営能力向上	A	
	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 現時点では、WWFとアウトプット1について共同作業をしている(XC)</li> </ul>
	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ (MC)</li> <li>➢ (DR)</li> </ul>
	D	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 調整が足りない。(FO)</li> </ul>
本プロジェクトで実施された活動が他の島に普及する。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ラジオとTV番組は、州全体に届いている。(XC)</li> <li>➢ 体験型漁業の支援は、ガラパゴス全体への支援となる。(XC)</li> <li>➢ 全ての島に届いている。(FO)</li> </ul>
	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 資金が不足している(JL)</li> <li>➢ イザベラで、活動を実施した。水質管理のモニタリングは、他の島でも実施して欲しいという依頼がある。(WT)</li> </ul>
	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ (MC)</li> <li>➢ (DR)</li> <li>➢ (KJ)</li> </ul>
	D	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ (MH)</li> <li>➢ (EP)</li> </ul>
JMPの運営能力が向上する	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ コミュニケーションのテーマに関しては、全体的にJMPを支援している。(XC)</li> <li>➢ 情報を得ている(JL)</li> </ul>
	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 現在、支援をしている。(FO)</li> <li>➢ (MC)</li> </ul>
	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ (DR)</li> <li>➢ プロジェクトがJMPと活動を始めたのは最近であるが、将来的に結果が生まれると思う。(WT)</li> </ul>



	D	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ (MH)</li> <li>➤ ディスカッションが続いているから合意形成にいたっていない (EP)</li> <li>➤ (KJ)</li> </ul>
ガラパゴス海洋保護区保全のための協力システムが強化される。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ (MC)</li> <li>➤ 調査が実施されているから(JL)</li> <li>➤ (KJ)</li> </ul>
	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ GMR に関する JMP メンバー間のコミュニケーションは改善している。(XC)</li> <li>➤ JMP を通じて、管理システムを支援している。(XC)</li> <li>➤ 現在貢献している。(FO)</li> </ul>
	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ (DR)</li> <li>➤ 長期のものであり、プロジェクトの最後に評価ができるであろう。(WT)</li> <li>➤ (MH)</li> </ul>
他のインパクト(PNG と漁業セクターの関係が改善している。)		<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 現時点では、COPROPAR と働いていて、関係の改善が見られている(XC)</li> </ul>

➤ インパクトがプロジェクトの活動から生み出されたかどうかを測定するのは困難である。(EE)

**B11 インパクト: 2012 年までに上位目標が達成されると思いますか？**

はい	いいえ
<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 保全というのは、継続的で永久的なプロセスであり、PNG の仕事とコミットメントとコミュニティの参加を必要とする。現時点までは、良い活動が行われているが、目的は 2012 に達成するというよりは、継続的に考えるべき(XC)</li> <li>➤ 目的が長期的なものであるから、2012 年までに達成できると思う。(EE)</li> <li>➤ 目的は 2012 以降も継続しなければならない。(FO)</li> <li>➤ 整備されたラボが残り、そこで水質検査が行われ、検査が他の島にも広がり、諸島全体の水質がわかるようになるから(JL)</li> <li>➤ プロジェクトに関係するすべての関係者がコミットメントを持っているから(MH)</li> <li>➤ みんなの協力が得られれば(EP)</li> <li>➤ そのためには、計画された活動を継続し、日本の専門家全員を保持する必要がある。可能であれば、CP との活動を調整するために、スペイン語のできる専門家が望ましい。(WT)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 住民が目標と実施方法を自分のものにし、プロジェクトが評価され、持続するためには、5 年は必要。(MC)</li> <li>➤ 2012 年までには達成できない。すべての目的を達成するには、プロジェクトを延長する必要がある。(KJ)</li> </ul>

**B12 インパクト: プロジェクトがもたらすマイナスのインパクトがあると思いますか？その場合、回避する方法はありますか？**

- センターの建設は無駄になったとコミュニティが思っていること(XC)
- コミュニティと水質に関するワークショップを実施した際に、調査結果の公表を約束したが、コミュニティは結果の発表と措置を要求している。(XC)
- 日本からの調査団が多すぎ、住民の期待を不必要に高めている。(FO)
- アウトプット 5 の場合、活動の特定が遅れた時、プロジェクトに対する信頼が薄れてしまった。もっと、積極的に前進しなければならない。(EE)
- 水質汚染について、対策措置についても協力して欲しいと思っていること(MH)
- 環境教育の専門家を送る約束であったが、派遣されなかった。(EP)

**B13 持続性:** プロジェクトの主な活動やインパクトは、プロジェクト終了後も持続すると思いますか？

	理由
はい	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 組合がコミュニケーションを自分達でできるようにトレーニングしている。また、PNG は、漁業セクターに支援を続けられる能力を持っている。同時にラジオ・TV の製作もできるようになる。(XC)</li> <li>➤ プロセスを続けなければいけない。(FO)</li> <li>➤ 持続は必要を思うが、期待をあまり高めず、具体的な活動を続ければ良い。アウトプット3の場合、PNG のオペレーション・プランに含まれているから、PNG の活動として引き続き実施される。(EE)</li> <li>➤ ラボとモニタリングの機材と特定の方法が残るから。(JL)</li> <li>➤ アウトプット4は知識を持っていれば持続可能(DR)</li> <li>➤ プロジェクトは、GMR の日常的な管理に役立つテーマで協力しているから。プロジェクトが終わっても訓練を受けた CP がいろいろな活動を続けると思う。しかし、直面する問題は、エクアドル政府と PNG の予算確保の問題が残る。(WT)</li> <li>➤ できると思うが、時間がかかる。我々の活動は、年間計画に基づいて実施している。(MD)</li> </ul>
いいえ	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ PNG の組織が不安定なため、持続性が保障できない。(MC)</li> <li>➤ 人事と資金が不足している。(MH)</li> <li>➤ 国の予算は十分でなく、人材も不足している。(EP)</li> <li>➤ インパクトが持続するには、2009 年までの期間は短すぎる。(KJ)</li> </ul>

➤ この質問票を理解するのは難しい。(MH)

ありがとうございました。

## 現地関係機関 質問票集計結果

有効回答数：9名

Oscar Aguirre (ガラパゴス観光協会：CAPTURGAL)、Bartolome Llorente (ガラパゴスガイド協会)、Fernanco Ortiz(コンサーベーションインターナショナル：CI)、Maria Lopez (ガラパゴス高校校長)、Edgar Muñoz (INGALA)、Sergio Larrea (JMP)、Alejandro Martinez (CDF)、Marcos Sanchez (市役所)、Cesar A Davalos Herrera (サンフランシスコ高校副校長)

**C1 プロジェクト目標について：現在のプロジェクト目標「住民参加による、海洋保護区生態系の維持・保全活動が推進される」は、貴組織の政策および優先順位と合致していますか？**

- 目的は CAPTURGAL の方針に沿っています。(CAPTURGAL)
- ガイド業務と関係しています。(ガイド協会)
- CI の主な目的は、諸島の社会・経済インパクトを軽減することによって、諸島の生物多様性を維持することです。そして、立場からみて、JICA のプロジェクトは、CI と一致しています。(CI)
- ガラパゴス特別法でも定められているし、ユネスコに協力している学校の方針とも合致しています。また、住民参加もあります。(ガラパゴス高校校長)
- もちろんです。ガラパゴス海洋保護区、PNG の管理計画、および地域計画で定められた政策と方針の一部と関係しているからです。また、JICA の PDM の作成段階でも参加する機会があったから。(INGALA)
- 特に観光と漁業において、ガラパゴス海洋保護区の持続可能な利用に関する協力は重要です。(JMP)
- JICA の目的は、CDF の方針とプライオリティに合致しています。我々は、ガラパゴス海洋保護区を保護するために、住民に参加で働いています。(CDF)
- 多くの面でお互い補完的です。(市役所)
- 我々は、総合教育を目指していますが、このプロジェクトは、我々の目的達成を支援してくれています。(サンフランシスコ高校)

**C2 関連団体との協調について：ガラパゴスには多くの援助機関や NGO が活動しています。あなたは、どのように協力団体と活動の調整や協力を行っていますか？**

- 活動のコーディネーションは、弱いと思います。(CAPTURGAL)
- JICA がコミュニティと行う活動について、公表しています。(ガイド協会)
- 個人的には、活動の 2 つぐらいで、協力しています。しかし、組織レベルでは、限られています。(CI)
- 私が聞いた限り、CDF・IDB・PNG が協力した調査報告書が適切に活用されています。また、ワークショップには、コミュニティの他に NGO も参加しています。(ガラパゴス高校校長)
- 直接的な関係はありませんが、ビジターセンターの建設に関して、調整が不足していたと思います。(INGALA)
- はい。(JMP)
- JICA プロジェクトは、一部の活動を CDF の教育環境部と協調していますが、現在は以前より、頻繁に協力しています。(CDF)
- はい、調整しています。(サンフランシスコ高校)

**C3 PDM/PO およびモニタリング体制について：このプロジェクトの PDM と PO を知っていますか？知っているとすれば、プロジェクトの実施に活用していますか？**

はい(2)	いいえ(2)	わからない(1)
コメント:		
➤ PDM/PO は知っていますが、自分のプロジェクトには使っていません。(CI)		
➤ マスタープランをしています。教育と調査のコンポーネントに参加したいです。スケジュールに関しては、予定されたとおりに実行されています。(ガラパゴス高校校長)		
➤ 見ただけです。(CDF)		
➤ いいえ、CAPTURGAL は、PDM も PO もあまりよく分かりません。(CAPTURGAL)		

C4 実施について: 各アウトプットを達成するために計画された現在の活動は、計画どおりに実施されていると思いますか? A: 計画どおりである、B: 多少おくれが見られる、C: かなり遅れている、D: わからないの 4 段階で評価し、その理由を記載してください。

アウトプット	評価結果	
1) 「海洋保護区管理情報が漁業コミュニティに伝達される」というアウトプットを達成するために行われている活動	A	
	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 漁民は通常警戒心が強く、外部の人から情報を受け付ける姿勢があまりないから。(CI)</li> <li>➤ JMP と進められているから。(JMP)</li> </ul>
	D	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 市役所</li> <li>➤ 漁業コミュニティへの情報の流れを強化するために何が行われているのか、プロジェクトの活動がわかりません。(CAPTURGAL)</li> </ul>
	2) 「地元住民の環境理解が促進される」というアウトプットを達成するために行われている活動	A
B		<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 住民のプロファイルを見ると、多くのメディアを使って、情報を流さない限り教育的なキャンペーンは困難。多くの人たちが船の上で仕事をしているから。JICA の恩恵を受けているのは、主に学生である。(CI)</li> <li>➤ 学校との活動があるから。(JMP)</li> </ul>
C		➤ ビジターセンターを建設したが、土地問題などでもめている。JICA の責任範囲を超えているが、残念である。(CI)
D		<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 地元住民の環境理解度が上がっているようですが、このプロジェクトの関与レベルがわかりません。(CAPTURGAL)</li> <li>➤ 市役所</li> </ul>
3) 「海洋生物と海洋環境の情報が増加する」というアウトプットを達成するために行われている活動	A	➤ 情報が作られたから。(JMP)
	D	➤ 計画はわかりませんが、活動は進められていると思います。(CDF)
		➤ 市役所 ➤ 進んでいるように思いますが、このプロジェクトの関与レベルがわかりません。(CAPTURGAL)
4) 「住民による污水対策活動が推進される」というアウトプットを達成するために行われている活動	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 学生の参加でプロジェクトとの接触が多くなった。(ガラパゴス高校校長)</li> <li>➤ INGALA が開催した第 5 回水フォーラムで、結果が見られた。(INGALA)</li> </ul>
	B	➤ プロジェクトの範囲が限られている。コミュニティは多様であり、すべての住民に届くのは困難。(CI)
	D	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ (JMP)</li> <li>➤ 汚染を軽減するための適切な計画と資金が不足し、何も実施されていない。そして、市役所としては、汚染を軽減するために污水处理施設を建設したりしているが、十分ではない。スポット的な対処に留まっています。(市役所)</li> </ul>
5) 「伝統漁民のための持続的資源管理活動が支援される」というアウトプットを達成するために行われている活動	A	➤ INGALA が作成している漁業戦略と関係している。(INGALA)
	B	➤ 漁業セクターは漁業に知識と経験を持っている外部者より、身近な人の意見を聴く傾向があるから。(CI)
	C	➤ (JMP)
	D	➤ この活動には参加していません。(市役所)

C5 妥当性について:

1) 日本の技術は海洋保全のどの分野に秀でていると思いますか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 日本が海洋資源管理の分野では多くの知識を持っているから、その知識を我々が、海洋保護区をよりよい形で理解し、保存の計画ができるように教えて欲しい。(ガイド協会)</li> <li>➢ 日本は、教育プログラムを通じて漁協が自らの方針を定められるように組織強化をすることができる。メンバー全員ではなく、一部の有力者のみが漁協の恩恵を受けている今の漁協の形態は、まちがっている。(CI)</li> <li>➢ 日本の協力は、我々にとって新しいものでした。技術的に進んだ国と聞いているし、海洋保全の分野でも、代替的な解決手段を持っている国です。(ガラパゴス高校校長)</li> <li>➢ アウトプット 3・4・5 の活動で秀でていると思います。(INGALA)</li> <li>➢ 漁業管理とデジタル技術 (JMP)</li> <li>➢ 湾の汚水対策や漁協の商業化・生産品に付加価値をつけること(CDF)</li> <li>➢ 日本は汚染対策として、4 気筒漁船の促進、場所にあった浄化槽モデルの作り方など(市役所)</li> <li>➢ 海洋生物学の分野において、海洋資源の評価改善、および、なまこやいせえびのような資源の回復、漁業の技術、海産物の保存技術、船舶で使用される油・廃棄物の管理、オーディオ・ビジュアルな教材、IT 導入、エネルギーと燃料の有効活用方法など。(CAPTURGAL)</li> </ul>
---

2) このプロジェクトはエクアドル政府の環境政策や住民にニーズを鑑みて妥当だと思いますか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ コミュニティにとっては、重要なプロジェクトと思います。海洋資源は住民の生活の基本であり、資源保護は欠かせないものです。(ガラパゴス高校校長)</li> <li>➢ 妥当だと思う。(JMP)</li> <li>➢ JICA プロジェクトは、現地住民のニーズとプライオリティにとって重要です。そして、そのニーズをよく分析する必要があります。(CDF)</li> <li>➢ 海洋保護区の保全に貢献できるという意味では、コミュニケーションとモニタリングの分野でこのプロジェクトは、重要(妥当)であると思う。(サンフランシスコ高校)</li> </ul>
--

C6 効果について: 2009 年までにプロジェクト目標が達成できると思いますか？

はい	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ でも、時間が短いと思います。考え方の変化と恒久的な結果が大事です。(ガイド協会)</li> <li>➢ チームメンバーによって達成できると思う。もう少し、運営の強化が必要。漁業組合との関係を強化するのも一案。(CI)</li> <li>➢ 活動も、結果も目的にあっているし、測定可能であり、達成可能でもあります。特に、参加型で設定されているから。教育を受けた人材を活用し、既存の情報以外に情報の確認をする調査のプログラムを提案します。(ガラパゴス高校校長)</li> <li>➢ プロジェクトはきちんと組み立てられており、アウトプットは、長期的に PNG・JMP・AIM で継続されると思う。(INGALA)</li> <li>➢ PNG と良い関係を保つことおよび漁民に近づくことによって、達成されると思います。(JMP)</li> <li>➢ プロジェクトの目的がよくわかりません。(CDF)</li> <li>➢ 計画どおりにすべての活動を実行できれば、可能だと思います。(サンフランシスコ高校)</li> </ul>
いいえ	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 水質モニタリングは重要であるが、ガラパゴスの環境問題を解決するには、それ以上のことをする必要がある。汚水の情報は、以前の調査ですでにわかっている。必要なのは、汚染源の問題を解決することである。(市役所)</li> </ul>

わかりません。(CAPTURGAL)

C7 インパクトについて: このプロジェクトは以下のようなインパクトに貢献できると思いますか？ A:すでに貢献している、B:貢献し始めている、C:将来貢献できる、D:貢献は難しい、の4段階で評価し、その理由を述べてください。

インパクト	理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>• PNG 職員のモラルの向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A: PNG の EE のような高いレベルの技術者が入ったお陰。(CI)</li> <li>A: 協力は、PNG の一部となっているから。(ガラパゴス高校校長)</li> <li>A: 今まで行った活動の成果として。(サンフランシスコ高校)</li> <li>C: (INGALA) (CAPTURGAL)</li> <li>C: たぶん将来ではできるでしょう(CDF)</li> <li>D: (JMP)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 環境保全に対するサンタクルス島民の認識が高まる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A: 知識を普及できる学生を対象としているから。(ガイド協会)</li> <li>A: 普及を重視しているから(サンフランシスコ高校)</li> </ul>

	<p>A: 管理方法とゾーニングと海洋生態系が壊れやすいものであることを知っている。(ガラパゴス高校校長)</p> <p>B: 他の組織も関与している一つのプロセスである。達成するには時間がかかり、測定も困難。(CI)</p> <p>B: (INGALA) (CAPTURGAL)</p> <p>B: 現在子ども達はその方向に進んでいると思いますが、長い期間が必要です。(CDF)</p> <p>C: (JMP)</p>
<p>• 環境保全に対するイザベラ島住民の認識が高まる。</p>	<p>C: 環境保全に実用的な意味を見出すという点では、イザベラコミュニティは遅れている。もう少しの時間が必要。(CI)</p> <p>C: (INGALA)</p> <p>C: (JMP)</p> <p>C: 将来にはできるでしょう。(CDF)</p>
<p>• イザベラ島民の生活が向上する。</p>	<p>C: 漁業以外の持続可能な経済活動をイザベラの住民がじょじょに行うようになったら、生活は改善するでしょう。(CI)</p> <p>C: (INGALA)</p> <p>C: JICA プロジェクトは、イザベラでだれと働いたのかわかりませんが、イザベラ住民の生活が改善されているとは思いません。(CDF)</p> <p>D: (JMP)</p>
<p>• 協力機関の運営管理能力が向上する。</p>	<p>A: (INGALA)</p> <p>B: (JMP)</p> <p>C: それぞれの運営能力によるから。(CI)</p> <p>C: 協力団体とはどこのことでしょうか？ PNG 以外に JICA はどこと協力しているのかわかりません。(CDF)</p> <p>C: (CAPTURGAL)</p>
<p>• このプロジェクトで実施された活動が他島に普及する。</p>	<p>A: メディアを通じて他の島の住民も活動を理解している。</p> <p>B: (CAPTURGAL)</p> <p>C: JICA が開始したプロセスがサンタクルスで充実した後で、他の島に普及するであろう。(CI)</p> <p>D: (JMP)</p> <p>C: イザベラとサンタクルスで活動していると聞いていますが、その結果が他の島に普及しているかわかりません。(CDF)</p>
<p>• JMP の管理能力が強化される。</p>	<p>A: 管理は知識によって改善される。(ガラパゴス高校校長)</p> <p>A: (INGALA)</p> <p>A: コミュニケーションの支援を通じて (JMP)</p> <p>A: コンセンサスが得られるようになった。(サンフランシスコ高校)</p> <p>B: 情報の流れが良くなったのがわかるから。(ガイド協会)</p> <p>B: JICA のパートナー機関の管轄外である。ここ一年間は比較的に政治が安定したが、その前は非常に混乱していた。(CI)</p> <p>C: 環境教育の面では改善されたとはいけません。(CDF)</p> <p>C: (CAPTURGAL)</p>
<p>• ガラパゴス海洋保護区保全のための協力システムが強化される。</p>	<p>A: 教育がもっとも大事な要素だと思うから (ガイド協会)</p> <p>A: まだ、構築中であるが、前進している。(ガラパゴス高校校長)</p> <p>B: これも、JICA のパートナー機関の管轄外である。(CI)</p> <p>B: (INGALA)</p> <p>C: コミュニケーションと教育が結果を出せば。(JMP)</p> <p>C: RMG で直接活動している組織間の強化が行われたかわかりません。(CDF)</p>
<p>• その他</p>	<p>A: 学校のカリキュラムがより適切になった。学生が回りの環境について、もっと知るようになる。(ガラパゴス高校校長)</p>

**C8 インパクトについて:** プロジェクトがもたらすマイナスのインパクトがあると思いますか？ その場合、回避する方法はありますか？

この質問票は提出期間が短く、JICA に計画性がないような印象を与えます。できれば、JICA の方とテーマについて話すチャンスが欲しかったです。特に我々のセクターやコミュニティに関係のあるテーマで JICA に協力したいと思います。(CAPTURGAL)

**C9 自立発展性について：プロジェクトの主な活動やインパクトは、プロジェクト終了後も持続すると思いますか？**

	理由
はい	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境教育と、海洋資源の管理の改善および汚水軽減などの活動は、ガラパゴス住民の日常の一部にならなければいけない。その中で、JICA のチャレンジは、住民がそのプロセスを自分達のものにして、自分達で測れるような便益を見つけられるところまで、もって行くことである。これが達成されれば、持続性が確保できる。(CI)</li> <li>教育分野では、プログラムが改善され、アウトプット5では、生活改善と安定化のための活動が予定されているから。</li> <li>主に、JMP・AIM・PNG によって継続されるから。(INGALA)</li> <li>PNG が組織として継続すべきだから。(JMP)</li> <li>すべての活動とインパクトが持続可能であるとは思いませんが、女性グループは持続可能だと思えます。ただ、女性グループは、以前から活動を行っていましたが、JICA の介入でより良い活動に繋がっています。汚水対策は市役所が引き継がなければいけません。(CDF)</li> <li>プロジェクトが残す常習行為が維持されると思うから (サンフランシスコ高校)</li> <li>ローカルレベルでキャパシティの強化・育成などをした場合、持続性があると思います。(CAPTURGAL)</li> </ul>
いいえ	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の継続性がない。(ガイド協会)</li> </ul>

**C10 自立発展性について：プロジェクトの活動や効果を持続させるシステムやメカニズムへの提案はありますか？**

- 前に説明したように、各プロジェクト活動の便益(現実的、できれば金銭的な)が感じられるようにならなければいけない。そして、コミュニティの若い世代と成人も含んだ活動をしなければならない。また、成人に関しては、理想論ではなく、具体的な便益を提示する方が効果的。(CI)
- いろいろなセクターの統合に向けた活動を実施する。例えば、若者と子ども、各島の教師と漁民、オペレーターと若者など、の横のつながりを強化すると良いと思います。(ガラパゴス高校校長)
- 受益者の中から CP を選ぶ。本当に必要性が高いところに集中して行う。(JMP)
- 現在行われている活動が、現地機関に引き継がれるようにすること。例えば、湾の汚水測定の場合など。(CDF)
- 環境問題と汚染源の解決に焦点をあてたコミュニティ支援活動を行う必要があります。例えば、①市役所の水と環境管理部の強化する、②電力会社・石油会社・市役所・PNG などの液体管理システムを構築する、③島の水資源の保護 (水源周辺での人的活動の排除)、④上下水道施設の建設です。(市役所)
- 保全の面で、環境業界や若者の参加を促し、他のプロジェクト(例:CAPTURGAL の生産セクターのための持続可能な開発プロジェクト)やプロセスとのシナジー効果を図る必要があります。(CAPTURGAL)

ありがとうございました。

## イザベラ島女性グループ 質問票集計結果

有効回答数：3組

Ana Ortega(OMPAL 会長)と Rosa Zambrano (会員) が同一質問票

Maribel Jaramillo (OMAI めいぐるみ担当会員)

Francisca Rodriguez (OMAI Tシャツ担当会員) と Marcia Noboa (OMAI ジャム担当が同一質問票)

**D1** あなたのグループは、JICA とどのような関係を持っていますか？

- JICA のお陰で、家に現金を入れられるようになり、心から嬉しく思います。デザインや型紙、Tシャツ用のスタンプ絵などの支援を受け、サンタクルス島での商品紹介フェアに参加することもできました。(OMAI)
- JICA からは、いつも支援がありありがたいと思っています。最近サンタクルスのフェアにも参加することができました。(OMAI)
- JICA からは紙のリサイクルで支援を受けました。カード以外の商品(バスケット・アルミ缶細工など)の作り方を教える先生も派遣してもらいました。型の使い方も教わりました。(OMPAL)

**D2** JICA との関係によって、何か変化がありましたか？または、変化がおきそうですか？

- 商品が沢山売れるようになり、注文数も増えました。(OMAI)
- 特に、サンタクルスの商品紹介フェアでは、今まで知られていなかった私たちの商品を多くの人に見せることができました。(OMAI)
- 特に外国の観光客が商品を買ってくれるようになりました。サンタクルスのフェアにも行くことができ、商品が沢山売れました。(OMPAL)

**D3** あなたの商品をよくするために、何が必要ですか？

- ジグザグステッチでめいぐるみ縫製に使えるミシンが欲しいです。また、ジャムがはいった袋を密封できる機械や、もっと多くの色をスタンプできる機械が必要で、また、それを使いこなす技術が大事です。(OMAI)
- 商品の仕上げをよくするために、技術を取り入れたいです。今はすべて手作業でめいぐるみを作っていますが、ミシンがあれば短時間でもっと多く生産できます。(OMAI)
- 特に、技術を良くする必要があります。リサイクルの紙は今、道具が限られていて厚い紙しか作れません。もっと薄い紙が作れば、色々なデザインの商品ができるはずですが、その作り方がわかりません。(OMPAL)

**D4** あなたのグループを良くするために、どのようなことが必要ですか？

- これからも商品を広く紹介し、今までのように団結したグループとして活動を続けたいと思います。(OMAI)
- 今は18人の会員の内、12人が活動しています。会員数を増やすつもりはありませんが、全員が活動すれば生産性も上がると思います。(OMAI)
- やはり、私たちの技術レベルを向上しなければいけないと思います。(OMPAL)

**D5** イザベラ島の生活を裕するためにどのような活動が必要だと思いますか？

- これから観光客が増えるから、もっと良い工芸品を提供できるように訓練を受けたいです。観光業は我々の生活を改善するための収入を与えてくれると思います。(OMAI)
- 観光客に知ってもらうためにもっと多くの活動が必要です。(OMAI)
- 島の人々に私たちの活動をもっと理解して欲しいし、商品进行评估して欲しいと思います。そうしたら、仕事が増えてくると思います。(OMPAL)